

5月4日 春日神社 御柱祭

長野市七二会の岩草区にある春日神社の御柱祭で建て御柱の役を依頼され、SFWより5名参加しました。

かつては氏子が150人程おりましたが、今では50人以下になってしまい御柱祭そのものの開催が危ぶまれているそうです。

小さくてもまとまりのある地区の祭事としてよく保存継続されています。

御柱(6m x 30cm)2本を建てる場所に、それぞれ深さ1m位の縦長の穴が掘ってあり、そこへ御柱の根元を入れ、頭側は滑車で中継してチルホールで引き揚げます。

バランスを取るための3本のロープは氏子衆が3方向に直引きして支えます。これらの息が合って目測で垂直になったら穴へ大きな石をいくつか入れ、更に間に土を入れ足で踏み固めて完了です。

御柱の前で神事を行い神楽を奉納して終了です。

予定通りのスケジュールで進行でき地域の皆さんに喜んでもらえて、SFWのお披露目として、良いデビューになったと思います。



建てた御柱に祝詞



息を合わせて柱を建てます



神楽を奉納

春日神社御柱祭	1
昭和小 学校林活動	2
裏プロ、高原学校	3
東北中学 林業体験	4

SDGsを推進するため、水や資源の節減、セルフサービスの徹底に協力いただき、環境に優しいマイ箸、マイカップの持参をお願いしています。勿論、ゴミは持ち帰りが原則です。メルマガ(メーリングリスト)のアドレスは sfw-mail@sfw.or.jp です。皆さんからの情報を送ってください。登録者全員に配信されます。なお、メルマガへの登録、変更、削除は事務局 office@sfw.or.jp へお願いします。

事務局ノート

5月16日 長野市立 昭和小学校 学校林遠足

5学年の児童は学校を8時20分に出発し、11時頃学校林に到着する予定でしたが、10時半頃には早くも着いてしまい、元気いっぱいの児童です。始めの式の後、説明しながらヒノキの間伐見本を行いました。

その後早い昼食をとり、12時から午後のプログラムのクラフトです。

道具の正しい使い方やサンプル作品の作り方を説明してからクラフト開始です。

2時間以上ありましたがあっという間に時間が過ぎ児童も熱心に集中でき、楽しかったという声がたくさん聞かれました。

みんなそれぞれ作った作品を持ち帰り、良い体験になったと思います。



ヒノキの学校林活動は長く続いています

4月5月の活動から

☆4/15(金) 引っ越し準備

SFW会員でもある信大工学部の栄岩先生の取り計らいで研究室で不要になった机や棚を岩草館用に頂けるようになり、軽トラ2台、軽ワゴン車2台、普通車1台で運びました。長い棚の板が2.4mもあるのですが、軽ワゴンに入りました。

また、大きなテーブルは軽トラバックに逆さにして載せました。更に小机も2個入り、意外と積めるので驚きです。

積み込みは1時間ほどで終わり、岩草館へ出発です。岩草館は電気工事が未だ、火の気がないので少し寒い位です。しかも曇りでうす暗いため棚の組み立てがやりにくかったのですが、地元の滝澤さんが電気を隣の公民館から引いてくださりライトアップして組み立てる事ができました。棚の組み立ては結構大変でしたが大勢でやったので何とかできました。前日にばらしの作業を1人でやった栄岩さんはさぞ大変だったろうと頭が下がります。

☆4月16日(土)第1回目の引っ越し

いよいよ森もり館から岩草館へ引っ越しです。軽トラ5台、ワゴン車2台など森もり館の庭に勢揃い。桜見物に来た客が何事かと驚いています。

スチール棚2台をばらさずにそのまま軽トラに積めたので、隙間に小物を詰めたりして相当の物が積みめました。不要で処分するものを除いて、工作機械やクラフト道具はほとんど積めたので車を連ねて岩草館へ出発です。どのルートで行くのか色々案ありましたが、結局広い国道に出て行くコースで30分

程かかりました。到着後校庭でシートやイスを出してサクラの花見をしながら昼食です。アルプスは見えませんが山里に囲まれてとても良い雰囲気です。

午後は棚を設置し、荷物を収納しました。3時には終了し、ニラ薄焼きのさしいれがあり、ティータイムです。木造校舎の静かなたたずまいがじっくりとじんじんで、とても良い活動拠点になると感じました。

☆5月7日 第2回目の引っ越し

連休中にもかかわらず2回目の引っ越しに、11人もの会員に参加いただきました。

午前中は森もり館の外回りの物を片付け、それぞれの車に積み、3~4台まとまったら岩草に向け出発です。この際、不要なものはゴミとして分別処理して、参加者に分けて持ち帰ってもらいました。

お昼は岩草で皆で揃って頂きました。日中の気温は26度ということでしたが、分校の中はひんやりする位で、木造校舎の良さを感じました。

午後はウッドデッキ作りと、ピザ釜の小屋作りに分かれて作業し、3時頃には終わったので茶話会をして解散となりました。お疲れ様でした。

☆4月24日 松ヶ丘小学校 学校林整備

最高気温20度で曇り、ちょうど良い気温でチェーンソーワークも快適でした。

この日は参加者が少なく少数精鋭で整備をしました。ツルキリや枯れ木の除去、ニセアカシアやマツ、その他の不要木の伐採、萌芽枝の整理など、特に遊歩道沿いを中心に行いました。午後からは大岡さんが来てくれて、松の間伐も進み、スギスギ広場からやま山広場までだいぶ明るくなり手が入ったようになりました。

6月18日 ぼくらの裏山プロジェクト

低学年を中心に児童28名とその親の参加がありました。

今年度初めての裏プロのため、裏山を知らない児童もあり、今回は裏山の探検です。特にまとう沖古墳群はほとんど知らない児童が多いので探検コースにいれました。

一番上にある古墳が一番偉い人だったのかなという児童の鋭い発想もありました。

その後は、お決まりコースで第1展望台へ登って、眼下に見下ろす街の風景の中で自分の家を探したり新幹線が走るのを見たりして人気のスポットです。

スギスギ広場に戻ってから、あらかじめスタッフが整備して用意しておいたリョウブやクヌギなどの材を使ってみんな大好きな名札作りです。

時間は30分ほどオーバーしましたが、作った作品を見せながら自己紹介もできました。



第一展望台で記念撮影



スギスギ広場で名札作り

6月28日 長野市立東条小学校・寺尾小学校

児童が少人数のため2校合同で高原学校のクラフト体験を行いました。

アソビーバ（元アゼリア）に宿泊するため、クラフトは体育館奥の市有林広場で行いました。ここを使うのは今シーズン始めてなので笹刈をしようと午前中から準備しました。ところが、雪解けが遅かったためか、あまり笹が繁樹していませんでした。そのため森林整備の体験をしたいという学校の要望は林床整理でなく、笹を抜開して道を作る体験に変更しました。

その後、道具の使い方や作品の作り方の説明をして、各自好きな作品を作るクラフトを行いました。

時間はたっぷりありましたので、各自一つは完成できたと思います。どうしても終わり間近になってからスタッフ応援を頼む児童が多く、スタッフは汗だくで仕上げの応援をすることになりました。



笹を伐開して道を作ります



ノコギリの使い方が上手になりました

7月5日 長野市立 東北中学校 林業体験

長野市立東北中学校 林業体験学習が長野市体験の森で行われました。

今まではバスで安曇野市に農業体験をしていたようですが、予算削減で近くを探したようです。対応できるところがなかなか見つからず、結局長野市で林業体験をすることになりました。近畿ツーリストがエージェントになって市に要望があり、その受け皿としてSFWが市の協力を得て実施したものです。

生徒数180名+教師10名という大規模な人数に対応するのはなかなか困難で、しかも7月5日という真夏に林業というのは、誰しも遠慮したくなるような事業です。

課題はいくつかありました。インストラクションできるスタッフを10名以上集められるか、10時から16時頃まで安全に楽しく林業体験ができるか、熱中症やコロナ対策がしっかりできるか、蜂やウルシなどの森の危険物に対処できるかなどなど、たくさんの課題がありました。何回かのミーティングや市のスタッフ2名の協力を得て、体験プログラムを考えました。

180人を10班に分け、1～5班は5つの体験メニューをローテーションで実施し、6～10班は広葉樹を伐採し、得られた材を使って「棒リング」（フィンランド発祥の森の中でのスポーツ“モルック”に似たもの）を作り、実際にゲームで使うというメニューを午前と午後で入れ替えて行いました。

具体的には体験するポイントを決めて置き、スタッフの説明指導で体験するものです。

P1：樹高測定 P2：枝打ち P3：密度測定
P4：玉切り P5：薪割り

時間がかかったのが玉切りで、チェーンソーの防護具を付けるのに手間取ったようです。

一番人気のあったのが薪割りで、校長先生も加わって歓声が上がっていました。また「棒リング」も楽しかったという声が多く聞かれ、お土産に持ち帰りました。



森林とSDGsの話し



枝打ち体験（時間不足でした）

一方で、お天気の心配もあり、天気予報では7月5日は雨80%の予報になり、急遽前日に雨プログラムの対応を4人で実施しました。結局雨が降らず晴れプログラムになりました。

お天気に振り回されましたが、怪我や病気もなく、予定通りできたので良しとしましょう。

（反省点）

- ・班分けの方法に行き違いがあり時間が遅れた
- ・タイムキーパー的なスタッフが必要
- ・機械を使うメニューは、機械の調子などでうまく行かない場合がある
- ・配布資料や葉が学校に届いていなかった。学校と直接コンタクトの必要あり

前回の通信からホームページでPDF配信にするよう検討中です。文字の大きさも少し大きくして年齢の高い方にも読みやすくしたいと思います。みなさんのご意見や感想をメールでお寄せください。お待ちしております。

信州フォレストワーク通信では、皆さまからのご意見や感想をお待ちしています。そのほか日頃感じていること、SFWでの活動や体験レポートなどお気軽にお寄せください。ペンネームや匿名での掲載も可能です。なお、記事は紙面の都合により一部編集させていただく場合があります。郵送、FAXまたはメールにて事務局までお送りください。

NPO法人信州フォレストワーク
通信編集委員会
〒381-2246 長野市丹波島1-725-5
電話・FAX: 026-285-2573
携帯電話: 090-2658-2044
office@sfw.or.jp
http://www.sfw.or.jp/

